HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	CATS による観光戦略策定の目指すところ
Author(s)	花岡, 拓郎; 石黒, 侑介; 西山, 徳明
Relation	尾道型デスティネーション・マネジメントってなに？ : 多様な地域遺産を生かす観光まちづくり戦略 = What is Onomichi type destination management? : Strategy of tourism for social Innovation using heritage diversity
Citation	CATS 叢書, 10, 29-31
Issue Date	2016-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/61303
Type	departmental bulletin paper
File Information	CATS10_6.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

池ノ上真一，花岡拓郎，石黒侑介，石森秀三編
『尾道型デスティネーション・マネジメントってなに？〜多様な地域遺産を生かす観光まちづくり戦略』
CATS 叢書第 10 号：29-31，北海道大学観光学高等研究センター（2016）

CATS による観光戦略策定の目指すところ

花岡　拓郎
北海道大学観光学高等研究センター特任准教授
石黒　侑介
北海道大学観光学高等研究センター特任准教授
西山　徳明
北海道大学観光学高等研究センター長・教授

2006 年，21 世紀の日本を支える大きな原動力として期待される「観光」の発展に学術の世界から貢献すべく，国立大学初の学術拠点として「観光学高等研究センター（Center for Advanced Tourism：CATS)」が北海道大学に設置されました。

CATS スタッフと尾道市との縁は以前より深く，石森は瀬戸内 海の道 1 兆円構想，西山は尾道市の歴史文化基本構想，山村はコンテンツツーリズム研究，池ノ上は地域資源マネジメント，花岡は西瀬戸内海地域の文化史研究，石黒は観光マーケティングに携わってきた経緯があります。今回，こうしたメンバーを中心とする CATS と広島県，尾道市との事業連携が実現することとなりました。

1.「地域協働」と「価値共創」

CATS は，自治体や公益団体，学術機関やシンクタンクなどと連携し，地域における地（知）の拠点（COC：Center of Community）となることを指向し，観光を通した地域振興に関する共同事業を国内外で行っています。各地域における観光まちづくりにおいて CATS の目指すところは，地域資源の価値が見出され，まもられ，それを活かす住民主体の観光によって新たな価値が「地域協働」によって創造されていく「価値共創」型の観光です。

従来の観光分野の研究・教育機関においては，発地の視点から主として旅行業，運輸業，宿泊業に係る実務的な研究・教育を主として行う傾向にありますが，CATS は「地域」をキーワードに据えた多様で先端的な観光創造研究に取り組んでいます。その特色は，着地の視点から，観光「を」創造すること，観光「で」新しいコミュニケーションを創造することを徹底して考えること。それは，本事業で CATS が尾道において目指すところの一つでした。

2. ツーリズムによって創造される都市としての尾道

図 4-1 は CATS の考える「観光」研究の学問構造と，CATS が重要視している分野を示したものです。観光イノベーション分野と観光デザイン分野を支柱とした「観光学」の体系化を進め，価値共創の理論研究，地域協働の実践研究，それらの応用研究を通じて得られた知見を政策提言や地域づくりの具体支援といった形で社会に還元しようとしています。特に，次世代ツーリズムとしてその理論構築に対する社会的要請が高い「コミュニティベースドツーリズム（Community Based Tourism）」と，「コンテンツツーリズム（Contents Tourism）」に関しては，図で示す重点分野における CATS の技術を結集させた研究を実証的に行っています。本書の第二部で後述するように，尾道はこの両ツーリズムを開発，牽引してきた先駆的事例に位置付けられ，コミュニティベースドツーリズム，コンテンツツーリズムによって「価値創造」されてきた都市ともいえます。

3. 尾道モデルの観光創造

尾道市役所の調べによると現在の観光客数は約 600 万人と言われています。これだけの観光客を迎えることができている背景には，地域の様々な主体間の協働による地域資源のマネジメント，文化遺産のマネジメントの蓄積があり，その実践によって培われてきた地域資源を活かしたツーリズムの姿があります。さらには，商都尾道としての市民力，新たな人材を惹きつける都市の魅力が尾道にはあって，他に類を見ない独自のライフスタイルが築かれています。本事業では，その尾道生活に寄り添う観光の創造こそが，尾道の狙いであることが段々と明らかになってきました。そのことを踏まえつつ，デスティネーション・イメージと，DMO（Destination Management Organization）の構築に関する議論に挑戦し，地域ブランディング，地域イノベーションの観点からも尾道観光の将来像を探ってきました。

CATS は，“観光創造は価値創造に他ならない。”というメッセージを掲げ，地方創生，地域再生の原動力としての「観光」に可能性を見出しています。尾道での観光まちづくりはまさにそのモデルの一つに成り得ると考えられ，CATS としてその内容を解明し，今，尾道が考えている次の観光戦略を明示すること自体も，本事業の目指すところだと考えています。ここ尾道での成果が，他地域における観光創造の参考となることが期待されます。

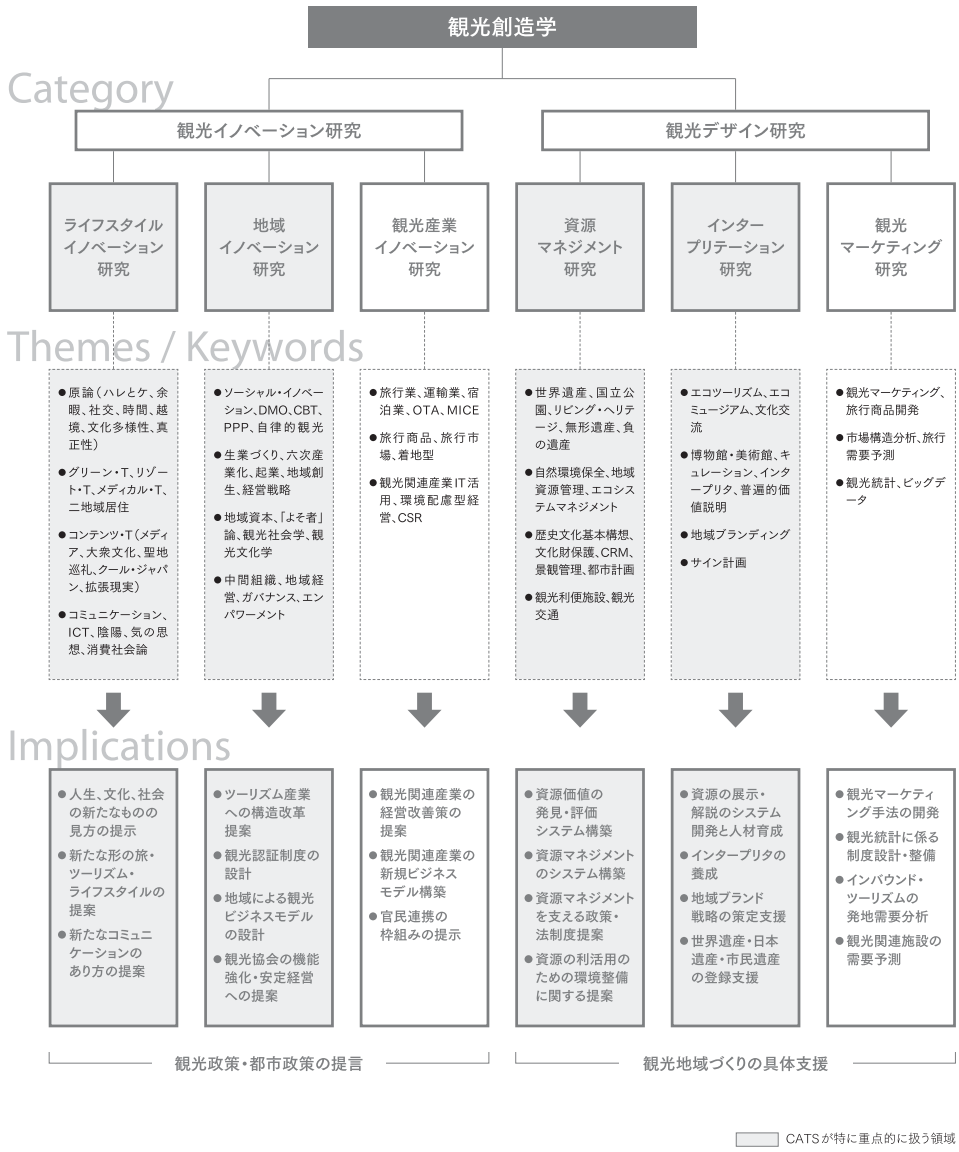

図１　CATSの考える観光創造学の体系と重点研究領域